

湖山地区協働のまちづくりについての報告

(1) 湖山地区公民館の建設について



住所 鳥取市湖山町北6-334

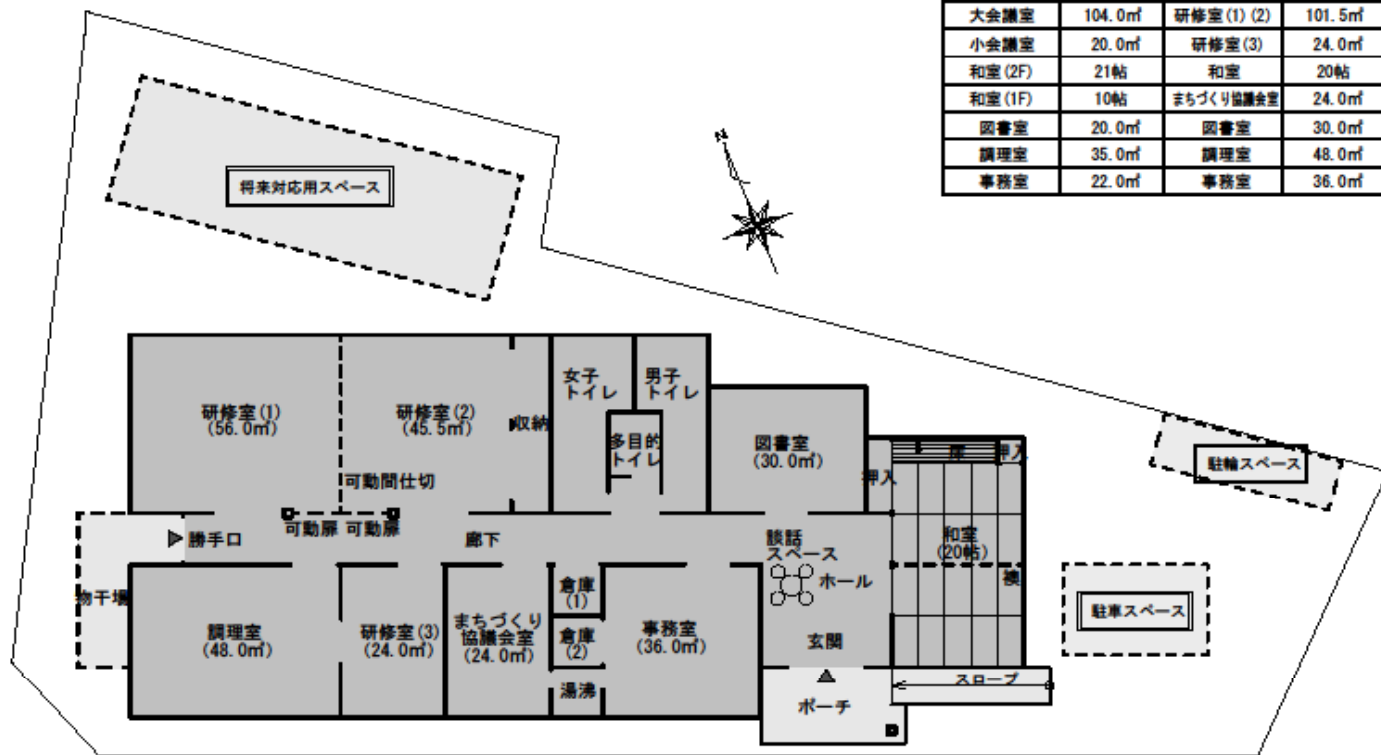
予定地周辺地図



湖山地区公民館基本計画案

各室面積比較表

現公民館		新公民館	
室名	面積	室名	面積
大会議室	104.0㎡	研修室(1)(2)	101.5㎡
小会議室	20.0㎡	研修室(3)	24.0㎡
和室(2F)	21帖	和室	20帖
和室(1F)	10帖	まちづくり協議会室	24.0㎡
図書室	20.0㎡	図書室	30.0㎡
調理室	35.0㎡	調理室	48.0㎡
事務室	22.0㎡	事務室	36.0㎡

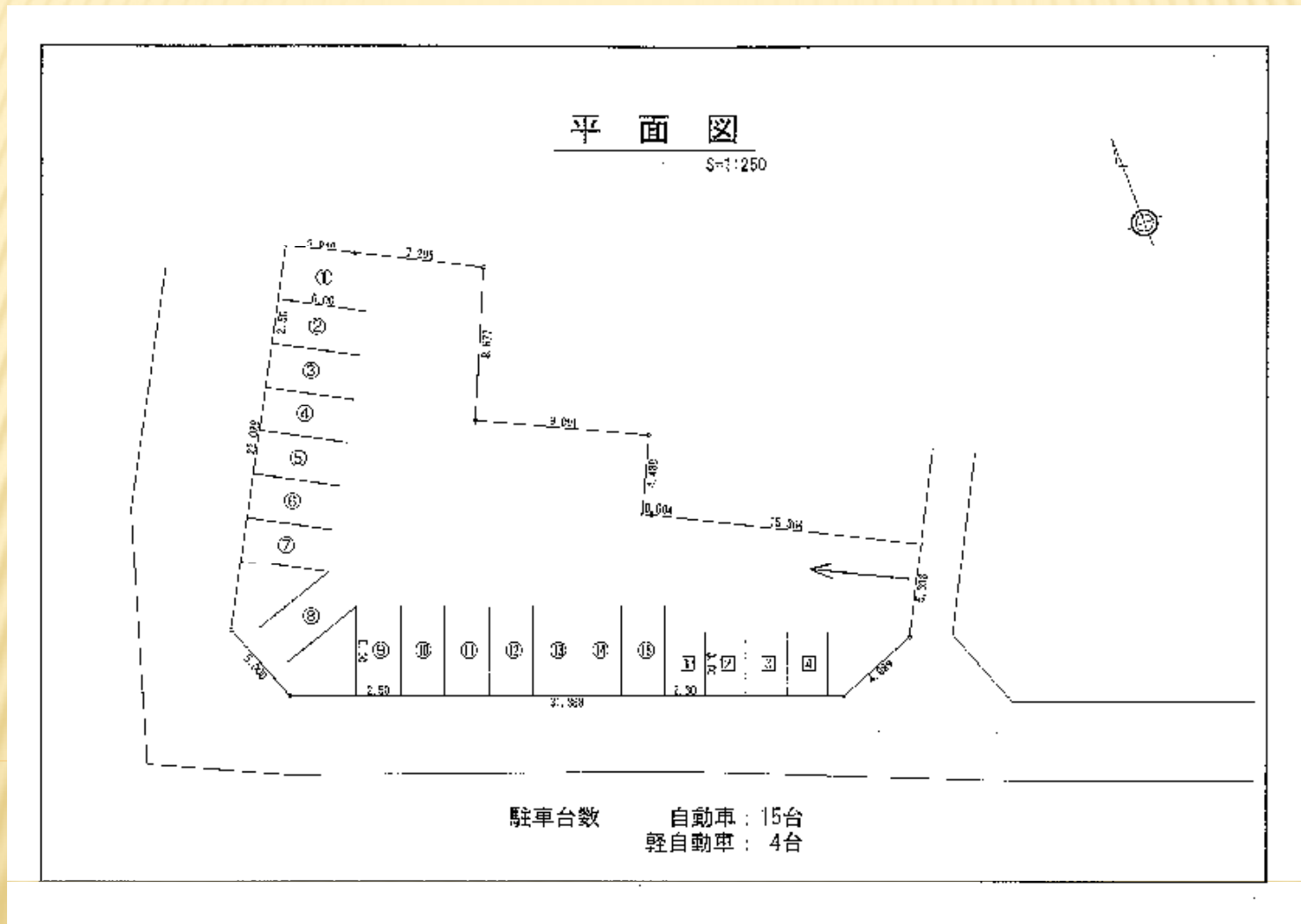


湖山地区公民館
配置兼1階平面図(参考図)

線路側

市道側

駐車場配置図（案）



湖山地区公民館新築基本設計に関する要望について

- × 1・「まちづくり協議会室」を設置する。
- × 2・調理室を48㎡とする。
- × 3・事務室とまちづくり協議会を通路で連結する。
- × 4・事務室は42㎡とするが全体の面積で調整する。
- × 5・和室に床の間を付ける。
- × 6・スロープを広げてポーチまで車で行ける様にする。
- × 7・勝手口は非常口として常時は出入りしないこととし、
× 出入りする場合は受付を置く。
- × 8・駐輪スペース、駐車スペースの位置については別途
× 検討する。
- × 9・その他

末恒地区公民館

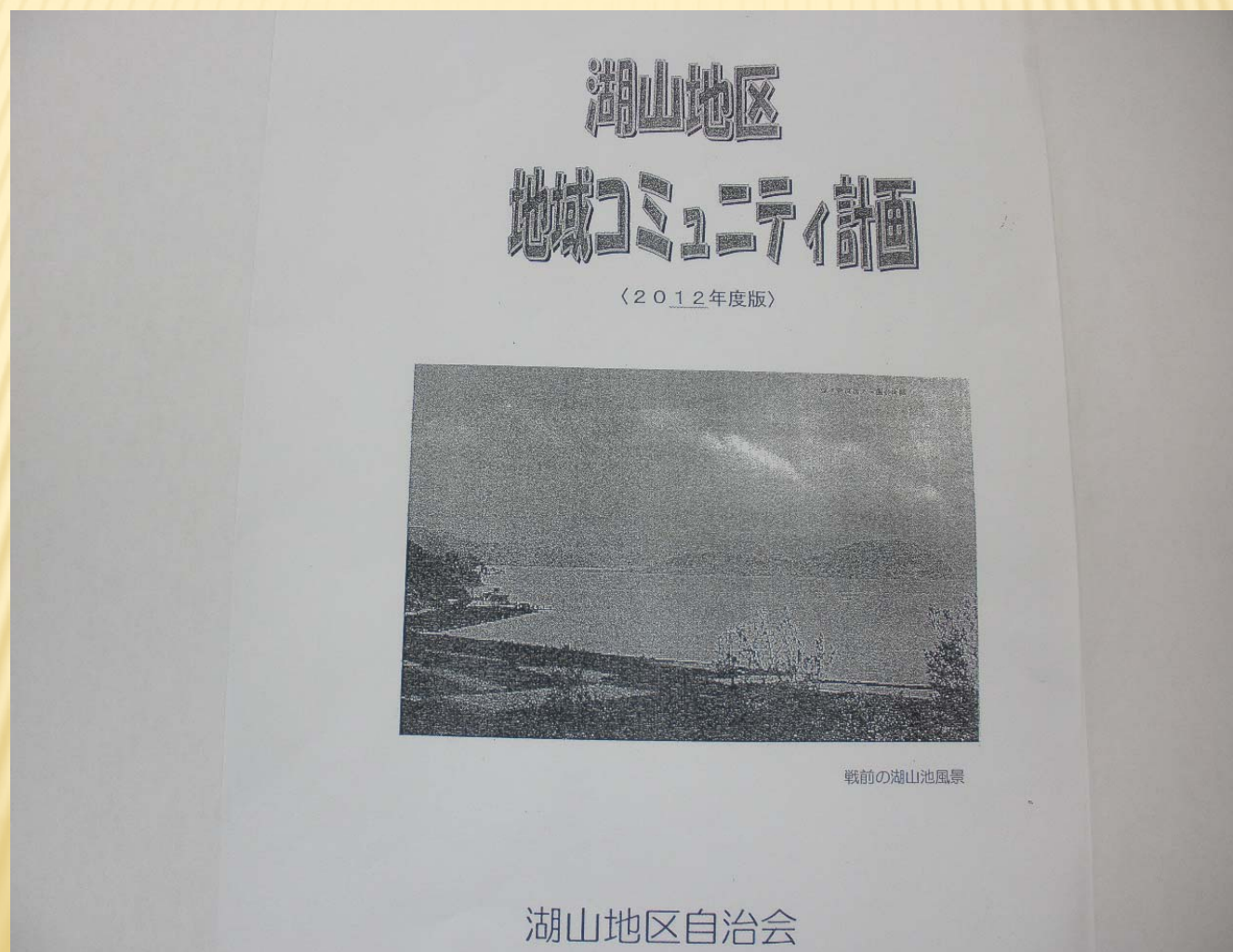


視察の様子

末恒・浜坂・岩倉の3地区公民館の視察を行いました

(2) ヒストリーロードの整備と 「第30回都市緑化とっとりフェア」への連携について

■ 湖山地区地域コミュニティ計画



湖山地区地域コミュニティ計画 実施計画1 詳細

基本目標 I 歴史・文化のまち霞の里づくり

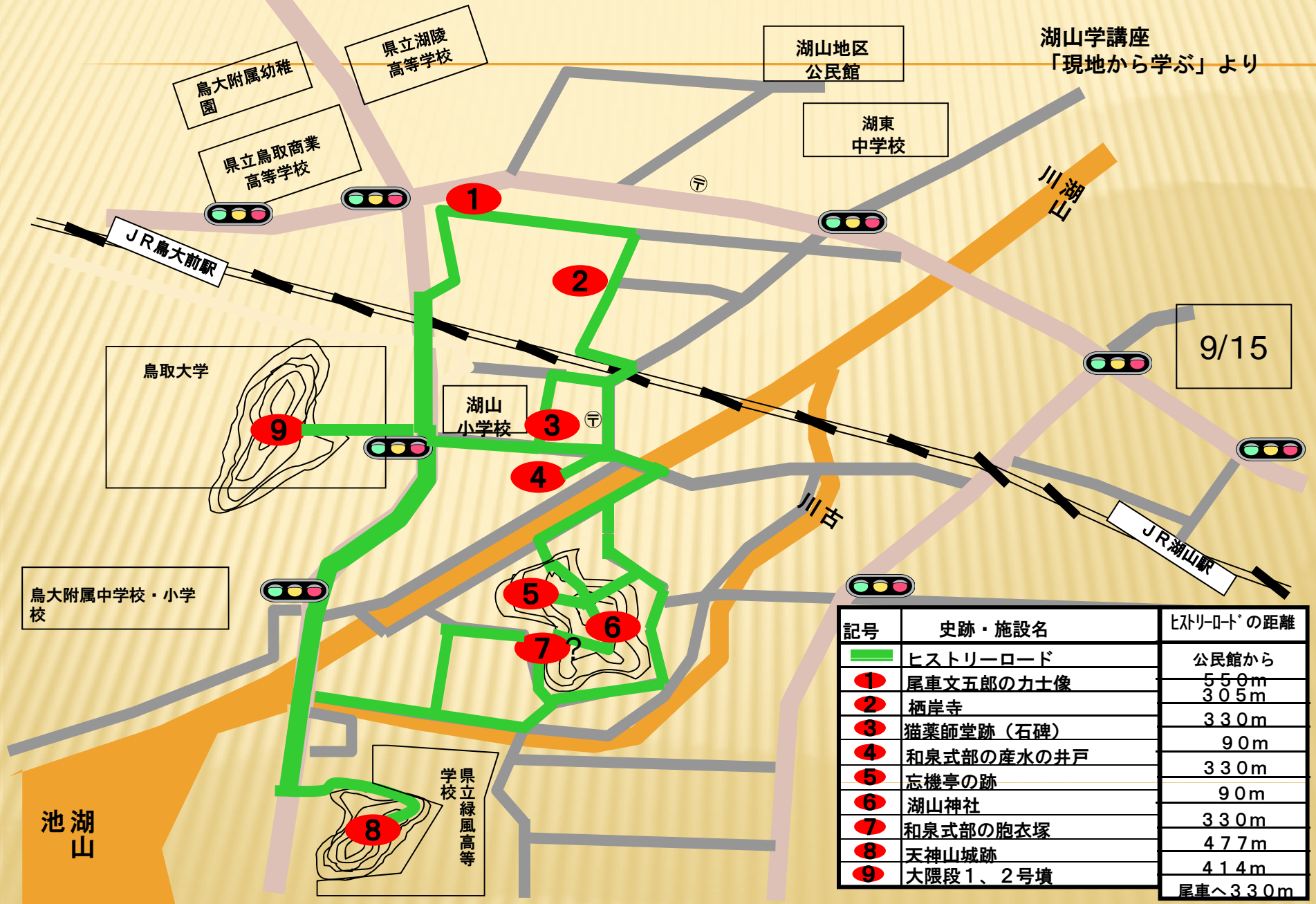
“春くれば花の都を見てもなお霞の里に心をぞやる” 平安歌人和泉式部が都で生れ故郷を想って詠んだ歌であり、その霞の里が、まさに湖山地区であります。当地区南端の山名一族の天神山城跡は中世の因幡支配の拠点として政治、文化の中心でありました。今は鳥取の文教文化の中心であります。これにふさわしいまちづくりを推進します。

※実施計画1 歴史・風土をふまえたまちづくり

伝統文化の保存、継承や歴史的遺産の保護・整備に努めます。
歴史的景観を単に保存するだけでなく、人の生活の中で生き生きとした景観として修復しつつ各史跡の連携を図ります。
又、地域の歴史を学ぶことで自分の住んでいる地への愛着や誇りを育みます。

実施期間	事業名・内容	役割分担
中期	①歴史ロードの組織化による整備 ・尾車文五郎碑、大隈段古墳、和泉式部産水井戸、胞衣塚、湖山神社、天神山城跡等を結ぶ小径を修景整備する <u>歴史ロード整備委員会を設置</u>	地域 市 県
短期 中期 長期	②伝統文化の継承 ・子どもしゃんしゃん傘おどり、湖山音頭、キリン獅子、湖山神社祭など伝統文化、芸能の継承とその人材を育成する ・天神山城跡の祭りや、集い（現在11回）を発展的に継承する <u>香美町村岡区との交流促進</u>	地域 <u>村岡区</u>
短期	③湖山学講座 ・地域の歴史・伝統・文化を学ぶことで自分の住んでいる地への愛着・誇りを育む ・講座の内容を小冊子にしたり、民話等のカルタを作る ・小冊子「霞の里」2000部作成し、湖山地区全戸 <u>その他関係先に配布</u>	地域

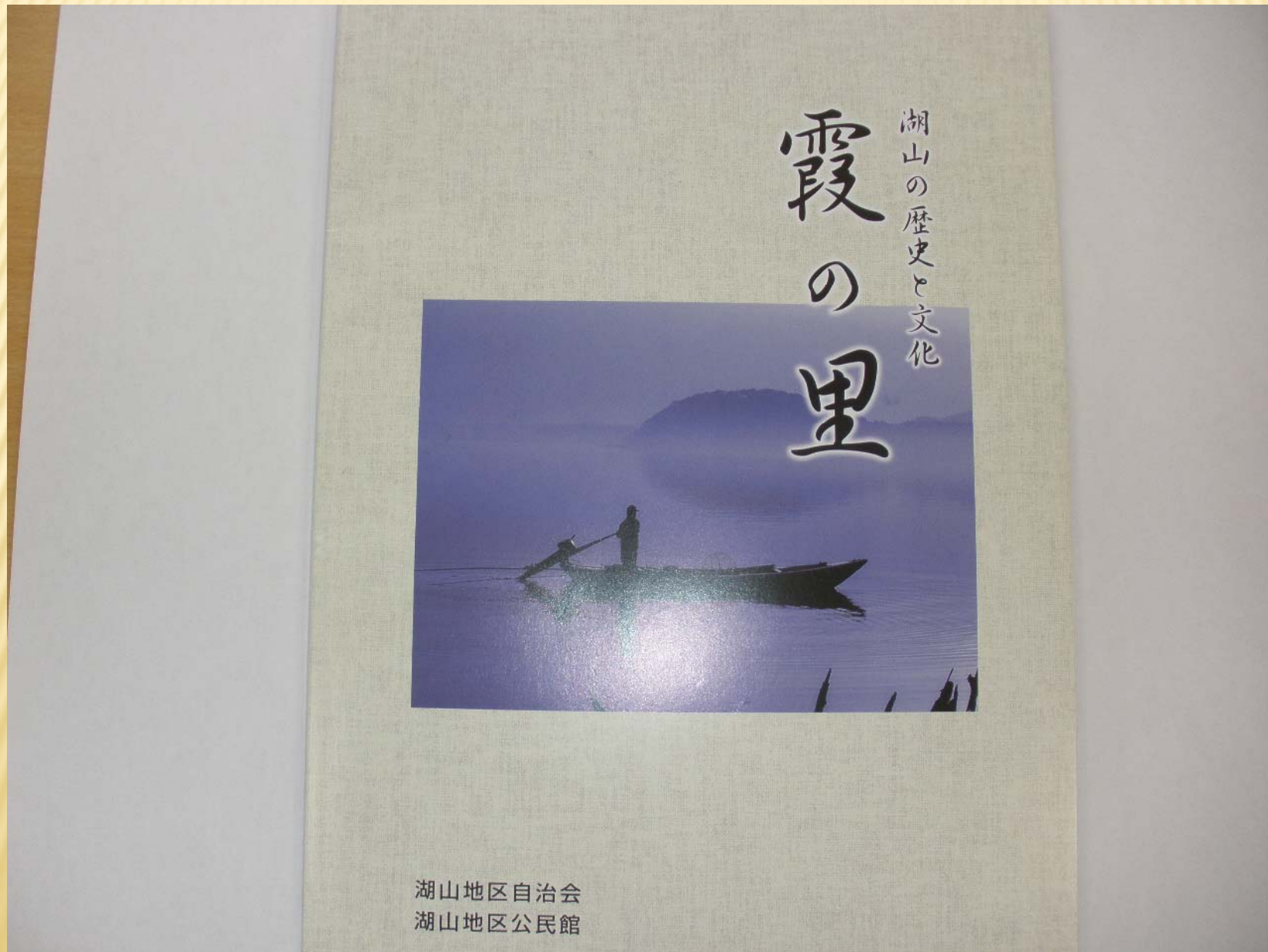
湖山ヒストリーロード



「歴史ロードマップ 歴史と文化のまち霞の里」

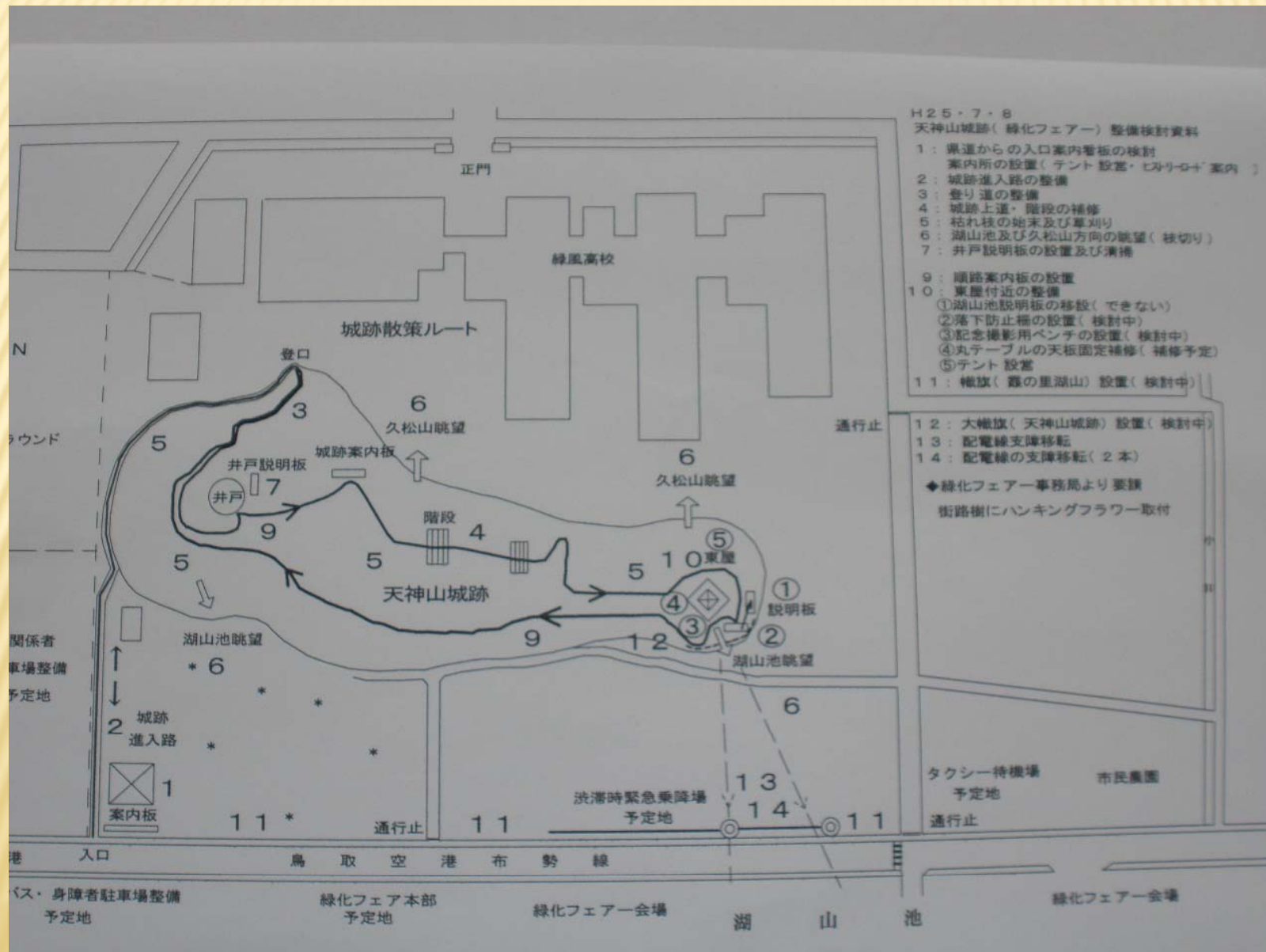


小冊子 「霞の里」



湖山地区自治会
湖山地区公民館

天神山城跡整備について



天神山城跡の現状

天神山城跡 全景



天神山城跡 頂上からの湖山池側展望



配電線



歴史・文化のまち『霞の里づくり』事業

「10周年記念 天神山城跡の集い」 平成23年4月23日(土)

日本海新聞 2011年(平成23年)4月19日 火曜日

「山名豊国」縁に交流



鳥取の湖山地区自治会関係者の案内で天神山城跡を視察する西村会長(左から2人目)ら

村岡観光協会と鳥取・湖山自治会
豊国は因幡山名家の家 頂に移築した武將。関ヶ原の戦いで功績を挙げ、但馬国七美(旧村岡町)を任され、村岡山名家の基礎を築いた。
湖山地区自治会は、歴史・文化のまち「霞の里づくり」事業を展開し、豊国ゆかりの天神山城跡の歴史、保存活動などに力を入れており、豊国が城主を務めた村岡にも注目。山名氏の歴史を振り返る上で、多くの山名関係の史料が残されている村岡との交流は欠かせないとして、交流を提案することにした。

今年3月上旬には、村山会長ら3人が村岡観光協会を訪れて交流を申し入れたのに対して、村岡観光協会は「歴史的にも村岡と鳥取の関係は

ジオパーク内 観光面でも連携期待

深い。山陰海岸ジオパークの観光振興などをもって、但馬、村岡は交流する必要がある」と了承した。
4月11日には、村山会長らの案内で、西村会長ら5人が豊国ゆかりの天神山城跡などを視察したほか、今後の交流計画などを決定。
第一弾の交流の場は4月23日、同市湖山町南3丁目の「縁の里」で開かれる「10周年記念天神山城跡の集い」(湖山地区自治会主催)。長瀬幸夫町長が来賓として出席するほか、香美町の名物ガイドとして知られている西村寿さんが「ジオパークと村岡山名のお話」と題して、村岡藩の歴史や鳥取とのつながり、交流の大切さなどを講演する。
西村会長は「山名氏つながりで村岡、湖山地区が民間レベルで交流することは意義があり、お互いの親善、発展につながる」と話している。(前嶋英雄)

歴史・文化のまち『霞の里づくり』事業

「第11回 天神山城跡の集い」 平成24年6月30日(土)

